

## 南九州マツダ 健康宣言

当社の企業理念に沿い、お客様の豊かなカーライフを実現するためには、社員一人ひとりが健康で生き活きと働くことが不可欠です。当社は、会社の成長を支える社員と家族の心身の健康を最重要財産と捉え、健康保持・増進活動に対する積極的な支援と組織的な健康づくりの推進によって、社員が生き活きと働くことで、豊かで快適・健康な社会生活と経済の発展に貢献する会社を目指します。

2019年8月1日

株式会社南九州マツダ

代表取締役 工藤勝正

## 南九州マツダ 健康管理方針（2019年8月1日制定）

第1条（目的） 当社は、「南九州マツダ健康宣言」に基づき、社員及び家族の心身の健康保持・増進と健康で快適な職場環境の形成を目的として、健康管理についての方針を定める。

第2条（態勢） （1）当社は、健康管理を推進・実施するため、代表取締役社長を責任者とする健康経営推進チームを組織する。

（2）健康経営推進チームは、健康管理に関して年間あるいは中期的な実施計画を定め、衛生委員会等とも連携しつつ、実施計画を推進する。

第3条（取組内容） 当社は、社員一人ひとりが心身の健康保持増進に自律的に取り組めるよう、健康づくりを支援する。法令遵守を基本とし、予防医学の見地から、以下の枠組みを体系的かつ包括的に健康管理を実施する。

（1）0次予防：職場のコミュニケーションの活性化等により、職場の環境を改善に資する取組を推進する。

（2）1次予防：研修等による社員への健康啓発や予防接種の実施等により、「疾病予防」に資する取組を推進する。

（3）2次予防：健康診断等の実施徹底や健康診断後の保健指導等により、「疾病の早期発見・早期措置」に資する取組を推進する。

（4）3次予防：休業と職場復帰制度などの規定や体制の整備等により、「疾病の再発防止・重症化予防」に資する取組を推進する。

## 健康経営推進チーム（23名）

代表取締役社長を責任者とする役員等経営責任者、健康保険委員、看護師からなる健康推進チームを組織し、全国健康保険協会や産業医等と連携し、健康経営取組計画の策定、実施、検証を実施して参ります。また、取り組みや検証の結果を株主・取締役会・経営会議等で討議し、更なる改善取り組みを推進して参ります。

## 南九州マツダの健康課題

- ・一部の専門職において高ストレス者割合が20%を超えており対策を講じて参りましたが、業務量のコントロールや人員確保が難しい職種でもあり、業務の平準化が課題とな

っています。

- ・生活習慣病リスク保有者の割合が高く、休職等による人員確保のリスクがあり、生産性に影響を及ぼす可能性が予見されます。

### 健康課題改善の具体的な取り組み

- ・政策資料など全社員への配布資料に、健康経営「社員が生き活きと働ける職場づくり」による目的（生産性の向上）を記載して、社員の理解を深めています。
- ・管理職や従業員へ健康に対する研修や情報提供を行い、健康リスクと当社の現状を認識してもらい、職場の健康意識を高めて参ります。
- ・始業時の体操やストレッチ、自動販売機へのカロリー表示や特定保健用飲料の設置、万歩計や血圧計などの健康器具の活用、熱中症対策など、職場環境の更なる整備を図って参ります。
- ・予約制の促進やIT化など「働き方改革」を進め、心身の負担を軽減して参ります。
- ・スポーツイベントやサークル活動支援を継続し、運動習慣の定着を支援して参ります。
- ・社内外の健康相談窓口の早めの活用や任意健診の更なる活用を積極的に促進し、早期発見・早期治療を促します。
- ・感染症予防接種や被扶養者の特定健診などへの補助支援を引き続き実施いたします。
- ・GLTDや配置転換、ならし勤務など、治療と職場復帰の両立支援を引き続き実施いたします。

### 取り組み効果（2022年9月末時点）

- ・健康経営に取り組んで3年経過いたしました。社員の健康意識が高まり、精密検査や保健指導の受診が定着してきたことで、生活習慣は改善しつつあります。しかし、まだリスク保有者率の低減には至っていません。
- ・高ストレス者割合が突出して高かった職種については、対策を強化した2020年を境に減少し続けています。ただし、マネジメント層の割合が増加傾向にあり、全体的には横ばい状態となっています。
- ・従来の傷病による欠勤日数は改善傾向にありますが、新型コロナウイルス感染症の家庭内感染や濃厚接触者認定による欠勤者が急増し、人当たりの限界利益は下がりました。

### 取組指標実績値

	健康診断 受診率	精密検査 受診率	特定保健 指導実施率	総労働 時間	所定外 労働時間	有休取得 日数	勤続年数
2018	100%	73.1%	-	177h	15h	5.3日	15.3年
2019	100%	83.6%	78.8%	172h	11h	9.0日	16.2年
2020	100%	80.3%	60.3%	168h	7h	8.9日	15.8年
2021	100%	79.3%	30.6%	169h	8h	8.5日	16.5年
2022	100%	78.3%	33.3%	172h	8h	10.3日	16.9年
2023目標	100%	90.0%	40.0%	170h	8h	11.3日	16.9年

### 生活習慣病リスク実績値

	腹囲	血圧	血糖	脂質	運動	喫煙	飲酒	睡眠
2017	45.8%	50.0%	15.6%	32.1%	14.8%	44.2%	41.5%	54.6%
2018	46.4%	51.9%	18.1%	30.9%	12.8%	44.1%	43.4%	55.6%
2019	45.9%	53.2%	18.5%	34.5%	11.4%	45.2%	40.9%	53.5%
2020	50.0%	53.9%	16.7%	36.2%	13.5%	43.9%	40.1%	60.8%
2021	49.7%	58.8%	17.0%	37.9%	12.7%	45.8%	39.4%	61.8%
2022	48.9%	54.6%	16.8%	29.8%	15.3%	44.1%	41.4%	58.9%
2023 目標	47.0%	50.0%	15.0%	28.0%	17.0%	42.0%	38.0%	62.0%

### 仕事のストレス判定回数値

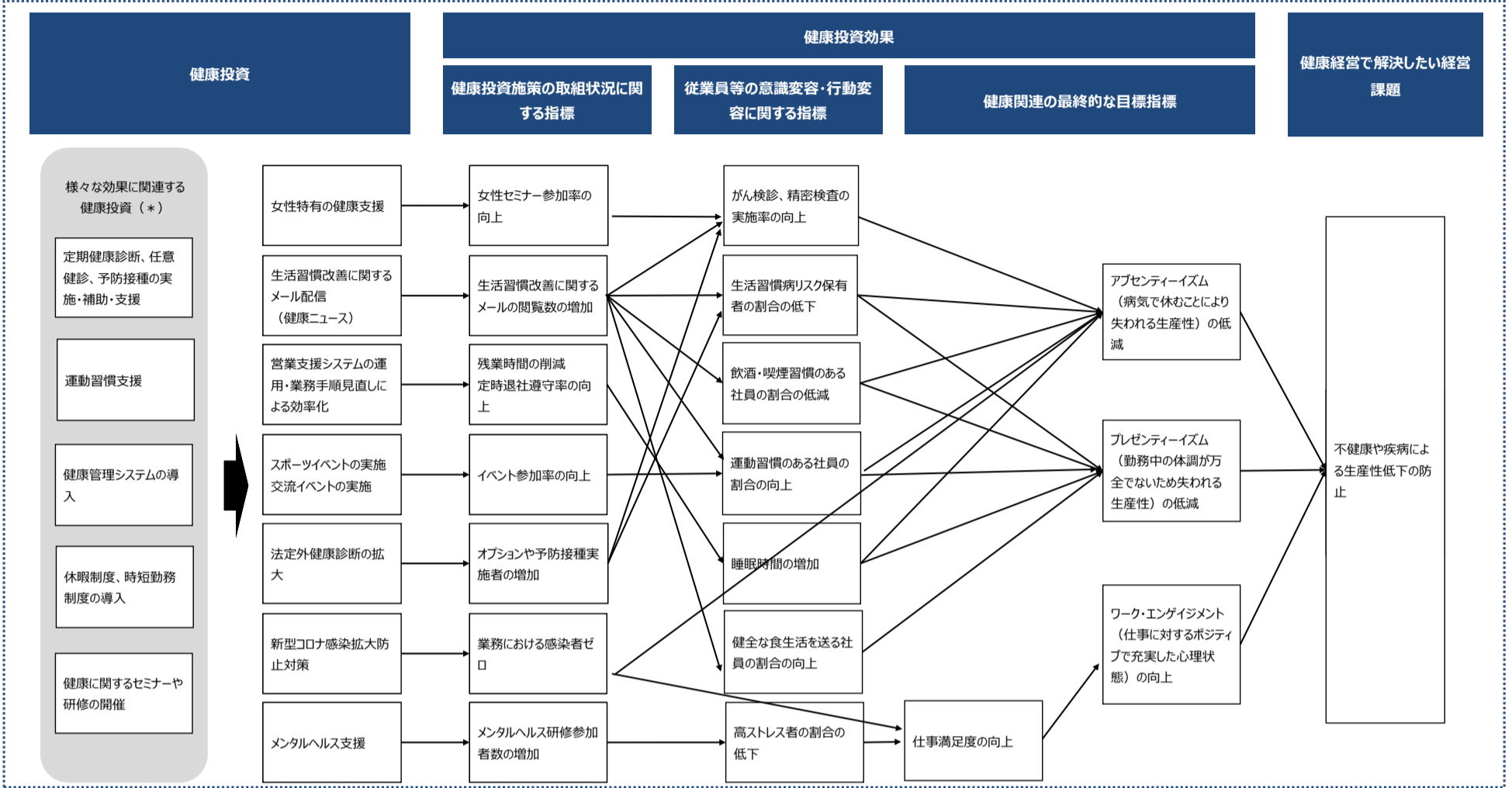
実施 年度	回答率	高ストレス者		ストレス要因				健康リスク		
		人数	割合	量的 負担	コントロール	上司の 支援	同僚の 支援	量・コント ロール	職場の 支援	総合
2017	100%	74	16.4	9.5	7.6	7.9	8.2	108	95	103
2018	100%	87	19.5	9.5	7.6	7.9	8.1	109	95	104
2019	99.7%	96	21.6	9.5	7.6	8.0	8.2	108	94	102
2020	100%	96	21.6	9.1	7.7	7.9	8.1	104	95	99
2021	100%	97	22.2	9.2	7.7	8.1	8.2	105	93	98
2022	100%	94	21.7	9.2	7.7	8.1	8.1	106	94	100
目標	100%		20.6	8.7	7.9	7.5	8.1	100	100	100

# 【基本情報】

FY22年度末時点

従業員等の男女比率	男性84%、女性16%
従業員等の平均年齢	40.9歳（男性40.9歳、女性40.7歳）
拠点	本社：鹿児島市、拠点：熊本県・宮崎県・鹿児島県

# 【戦略マップ】 FY23



(\*) 基本的に「健康投資」と「健康投資施策の取組状況に関する指標」は1対1で対応する。しかし、中には複数の「健康投資施策の取組状況に関する指標」に対応する「健康投資」も存在するため、そのような「健康投資」を「様々な効果に関連する健康投資」とする。

